

第5学年 算 数

第5学年の学習到達目標

- (1) 小数及び分数の意味や表し方についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法・分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようになる。
- (2) 面積の求め方についての理解を深めるとともに、基本的な平面図形の面積を求めることができるようになる。
- (3) 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、基本的な平面図形についての理解を一層深めることができる。
- (4) 百分率や円グラフを用いるなど、統計的に考察することができるとともに、数量の関係を式で表したり、式をよんだり、その関係を調べたりすることができる。

第5学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	1 小数と整数	整数と小数が同じ十進位取り記数法のしくみをもつことを理解し、それを有効に使うことができる。	1000分の1の位までの小数の意味と表し方 整数・小数の10倍、100倍、10分の1、100分の1の数を求めること 偶数と奇数の意味と性質の理解
	2 概算	目的に応じて概算を使うことができる。 概数で表せることよさに気づく。	加法・減法の概算
	3 小数のかけ算	小数のかけ算の意味と計算のしかたを理解し、それらを適切に使うことができる。 小数のかけ算でも、整数と同じように交換・結合・分配の法則が成り立つことを理解する。	(小数)×(整数)、(整数)×(小数)、(小数)×(小数)の計算のしかたと筆算 小数の場合にも計算のきまりが適用できること
	4 垂直と平行	平面上の2本の直線の垂直・平行関係を理解し、確かめたり、かいたりできる。	直線の垂直や平行の概念と平行な直線の性質の理解 垂直や平行な直線をかくこと
	5 いろいろな四角形	いろいろな図形を観察し、それらの特徴をとらえて平面図形についての理解を深める。 台形、平行四辺形、ひし形の性質を理解し、作図することができる。	台形、平行四辺形、ひし形の概念と性質の理解及び作図 いろいろな四角形の対角線の特徴 四角形のしきつめ
	立方体と直方体	直方体、立方体を観察し、それらの特徴をとらえて直方体、立方体についての理解を深める。	直方体、立方体の概念と性質の理解及び展開図
	6 小数のわり算	小数のわり算の意味と計算のしかたについて理解する。 小数のわり算で、わりすすんで商が小数になる場合や商を概数で処理することができる。	(小数)÷(整数)、(整数)÷(小数)、(小数)÷(小数)の計算のしかたと筆算
後期	7 図形の角	三角形の内角の和が180°であることを理解する。 三角形の内角の和をもとに、多角形の内角の和の調べ方を考え、理解することができる。	三角形の内角の和が180°であることを知り、それを利用して三角形、四角形の未知の角度を求める 多角形の内角の和の求め方
	合同な図形	合同な図形の意味や、合同な図形の性質が分かる。 合同な三角形や四角形を弁別したり、合同な三角形や四角形をかいたりすることができる。	合同の概念と性質の理解及び作図
	8 図形の面積	平行四辺形や三角形などの面積が計算で求められることの理解を深める。 いろいろな図形の内積を求める公式から、それぞれの面積を求めたり、辺の長さや面積の関係などを考えたりすることができる	三角形、平行四辺形の面積の求め方、公式、求積 多角形の面積を三角形に分割して求める
	9 分数	分数についての理解を深めるとともに、同分母分数のたし算やひき算ができる。	分数の相等関係の理解と簡単な場合についてその相等を弁別する 同分母分数の加法・減法の計算のしかたと計算 除法の結果を分数で表すことや整数・小数・分数の関係の理解
	仮分数や帯分数の計算	分数についての理解を深めるとともに、仮分数、帯分数のたし算やひき算ができる。	仮分数、帯分数の加法・減法の計算のしかたと計算
	10 円	円周率の意味を理解し、直径から円周を求めることができることを知る。 円周率を使って、円の面積の公式から円の面積を求めることができる。	円周率の意味の理解 円周率と円周の長さや円の面積との関係 円周の長さや円の面積を求める

	多角形と正多角形	多角形，正多角形を観察し，それらの特徴をとらえて多角形，正多角形についての理解を深める。	多角形，正多角形概念と性質の理解及び展開図
11	割合とグラフ	割合や百分率の意味について理解し，それを使うことができる。 目的に応じて資料を分類整理し，それを円グラフ・帯グラフに表したりできる。	割合の意味や割合，くらべられる量，もとにする量の関係 割合についての問題を解く 「百分率」の意味と表し方の理解 百分率を適用する問題を解く 帯グラフ・円グラフの読み方，かき方
12	5年のまとめ	既習の見方・考え方を確かめたり，その関係を考えてりする。 既習の用語の定義や性質が分かり，計算や作図が適切にできる。	台所から出るゴミをテーマに算数の総合的な活用をする 「数と計算」の問題を解く 「量と測定」の問題を解く 「図形」の問題を解く 「数量関係」の問題を解く

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点 それぞれ学習を進める中や学習後に評価します。</p> <p>【算数への関心・意欲・態度】 数量や図形の性質や関係などに着目して，考察処理したり論理的に考えたりすることの良さに気付き，進んで活用している。</p> <p>【数学的な考え方】 算数的活動を通して数学的な考え方の基礎を身に付け，論理的に考えたり，発展的・統合的に考えたりしている。</p> <p>【数量や図形についての表現・処理】 小数や分数の計算が確実にできること，図形の面積を求めたり性質を調べたりすること，数量の関係などを表したり調べたりすることができる。</p> <p>【数量や図形についての知識・理解】 小数や分数の計算の意味，面積の求め方，基本的な図形の意味や性質，数量の関係を理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法 児童の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を重視し，児童が身につけた知識・理解・技能だけでなく，児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力などの観点も大切にしていきます。 ペーパーテストだけでなく，日常の学習の様子，発表，課題への取組みの状況，ノートなど様々な方法により多面的に評価します。 学習の進行中に現れる児童の思いや願いを，その都度評価し，児童の指導に生かします。 児童自らが，自分自身の学習の仕方や理解の程度などを自己評価したものや，相互評価したものも参考にします。</p>
---	---

特色ある学習方法

<p>(1) 基礎・基本の定着 前学年の内容も必要に応じて継続して指導し，理解と定着を図るようにします。 計算や測定など基礎的技能についてはその習熟や維持を図るためドリルタイムを設定し，反復練習をします。</p> <p>(2) 算数的活動を積極的に取り入れる。 数量や図形についての意味を理解し，論理的な思考力や直観力，問題解決能力を育てるために，生活との関連を考慮しながら，作業的・体験的活動ができる場面をできるだけ設定するよう工夫します。また，ゲームなどの要素を取り入れ，楽しく練習ができるような場も設定していきます。</p> <p>(3) 学習形態の工夫 一人一人の学習状況を把握し，きめ細かい指導をしたり，自分に合った課題を選択して学習に取り組んだりできるように，少人数指導やチームティーチングによる指導も取り入れます。</p>
--

使用教材等

教科書「算数 5年」(学校図書) 計算ドリル，計算のテスト

留意事項

<p>(1) ノートについて ノートは，自分が何を考え，何を思い，どうやって解決に行き着いたのかを記録する大切なものです。5mm 方眼を使っています。</p> <p>(2) 家庭学習・用具の準備を大切に 毎時間の復習は確かな理解につながります。学習した内容の定着をはかるため，計算ドリルやプリントなどの課題を出します。自分の間違いに気付き，その原因を明らかにしたうえで確実に直していくなど，間違いから学ぶ姿勢も大切です。また，ものさし，三角定規，分度器，コンパスなどの用具をきちんと用意し，必要なときはいつでも使えるようにしておくことが必要です。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるために 算数で学習したことが，生活の中で直面した問題の解決に生かされることにより，算数のよさを実感することができます。見積もりや割合など，日常の事象を数理的にとらえたり，身近な事柄の中に含まれる数・量・図形などの要素や数学的な考えに着目したりできるようご協力をお願いします。</p>
